

2019年（令和元年）9月4日

{{所属}}
{{氏名}} {{敬称}}

Information News 第81号

いつも大変お世話になっております。ハウス食品分析テクノサービスでございます。

2019年8月26日～2019年8月30日の期間に発表された、食品に関連する話題を各省庁Webサイトより抜粋し、お届け致します。

★★分析テクノサービスからのおすすめ★★★★★★★★★★★★★★★★★★
このたび、弊社ホームページを全面リニューアルいたしました。

モバイル端末やスマートフォンにも対応したほか、ちょっとしたご相談やお問い合わせ、更には試験分析ご依頼がホームページから簡単に出来るようになりました。

新しくなった弊社ホームページ

<https://food-analab.jp/>

にアクセス頂けますと幸いです。今後ともよろしく願いたします。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

<厚生労働省>

・「食事による栄養摂取量の基準の一部を改正する件（案）」に関する意見募集について
<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495190169&Mode=0>
⇒**摂取エネルギー量及び栄養素34種類について、目安が設定**される見通しです。

・「食品衛生法施行規則の一部を改正する省令（案）」（二炭酸ジメチルの添加物への指定）及び「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（案）」（食品中の農薬等（アミスルブロン等6品目）の残留基準設定及び食品添加物（イソマルトデキストラナーゼ、二炭酸ジメチル等5品目）の規格基準の設定及び改正）に係る御意見の募集について
<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495190173&Mode=0>
⇒農薬アミスルブロン、動物用医薬ゲンタマイシンなどについて規格基準が設定、改正される見通しです。

・「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（案）」（食品中の農薬等（アフィドピロペン等5品目）の残留基準設定）に関する御意見の募集について
<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495190174&Mode=0>
⇒農薬アフィドピロペン、オキスポコナゾールフマル酸塩などについて、残留基準が設定される見通しです。

・平成30年度「輸入食品監視指導計画に基づく監視指導結果」及び「輸入食品監視統計」の公表
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_06382.html

・薬生食輸発0828第2号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について（中国産食品のサイクラミン酸に係る検査命令対象製造者の追加）」
<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000541385.pdf>

・PDF 薬生食輸発0828第1号「平成31年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（エチオピア産ごまの種子の2，4-D、中国産そばのハロキシホップ及びブロッコリーのメトラクロール）
<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000541345.pdf>

・薬生食輸発0830第1号「平成31年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（生食用鮮介類に係る腸炎ビブリオ）
<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000542680.pdf>
⇒生食用鮮介類（アカガイ、タイラギガイ、トリガイ及びウニに限る。）の腸炎ビブリオについて、**モニタリング実施期間が2019年8月31日までから9月30日までに延長**されました。

<農林水産省>

・「SDGs×食品産業」セミナーの開催及び参加希望者の募集について **開催日：令和元年10月11日（金）10：00～12：00**

<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kikaku/190829.html>

⇒農林水産省では、SDGsに実践的に取り組んでいる企業を後押しし、また積極的な企業の参画が得られるよう、**SDGsに関する基本的な考えや食品企業における取組について情報提供**を行うとともに、この取組を進めるに当たっての課題や疑問点等について意見交換を行います。

・農村地域人口と農業集落の将来予測結果について

http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo01/190830_15.html

・野菜の生育状況及び価格見通し（令和元年9月）について

<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/engei/190830.html>

指定野菜14種（消費量が多く、国民生活にとって重要な野菜として野菜生産出荷安定法で定められた野菜：ダイコン、ニンジン、ハクサイ、キャベツ、ホウレンソウ、ネギ、レタス、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、ジャガイモ、サトイモ、タマネギ）のうち、**ニンジン、レタス、トマト、パレイシヨ、タマネギの5品について、価格が安め**になる見込みです。

・我が国の食料消費の将来推計（2019年版）について

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo01/190830.html>

・「SDGsと植物遺伝資源の保全・利用促進セミナー～私たちの食の未来を支える植物遺伝資源～」の開催及び参加者の募集について **開催日：令和元年9月25日（水）13時30分～15時30分**

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kankyo/190830.html>

本セミナーでは、植物遺伝資源の保全と利用がSDGsの達成に深く関わっている事を踏まえ、それぞれの立場で貢献可能な取組について、ロシアからの専門家を交えて討論することとしています。

<消費者庁>

<消費者庁HP掲載の回収情報>

微生物関連	3件
異物混入関連	2件
アレルギー表示関連	1件
消費／賞味期限関連	1件
残留農薬／動物用医薬関連	1件
包材関連	1件
添加物関連	1件
品質関連	1件

計11件（前週比－2件）

⇒**シール不良により、洋菓子の自主回収が発生**しています。

★★分析テクノサービスからのおすすめ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
袋詰め製品の**気密性不良**（ピンホール、シール不良）は、内容物の突き刺し、他物質の摩擦、落下時の衝撃、原料噛みなどにより発生し、膨張やシール後退を引き起こすことがあります。弊社では、**経験豊富な検査員による詳細観察**により、気密性不良の原因を推定致します。また、レトルトパウチなどのアルミニウム層を有する包材で、シール不良箇所が判別しにくい場合は、当社独自の**方法で可視化**することも可能です。

詳しくは、お気軽にお問い合わせください。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

※本メールは、過去に弊社にご依頼を頂いたり、お名刺交換をさせていただいたお客様に送信させていただいております。本メールがご不要のお客様は、ご一報いただけましたら、次回より配信を停止させていただきます。

※万一、お客様のご所属・ご氏名に誤りがございましたらご一報下さい。速やかに修正致します。

株式会社ハウス食品分析テクノサービス
インフォメーションニュース係
Mail: info2@food-analab.co.jp

〒284-0033千葉県四街道市鷹の台1丁目4番
[TEL:043-237-5676](tel:043-237-5676) FAX:043-237-2912
[URL:https://food-analab.jp/](https://food-analab.jp/)
